

株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬開催

剰余金の配当の基準日
 ○期末配当……………3月31日
 ○中間配当実施の場合…9月30日

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
 日本証券代行株式会社

事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号（福岡証券ビル内）
 日本証券代行株式会社 福岡支店
 電話（092）741-0284

（郵便物送付先）
 お問合せ先 〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号
 日本証券代行株式会社 代理人部
 （住所変更等用紙のご請求） ☎ 0120-707-842
 （その他のご照会） ☎ 0120-707-843

取次所 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けいたしております。
 ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/procedure.html>
 （一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。）
 ※「お手続き用紙のご請求」をご参照願います。
 ※証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。

単元株式数 1,000株

公告方法 電子公告により当社ホームページ（<http://www.krosaki.co.jp/>）に掲載いたします。
 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場金融商品取引所 東京（第一部）・福岡

ホームページのご案内



<http://www.krosaki.co.jp/>



第117期 中間報告書

（平成19年4月1日から
平成19年9月30日まで）

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第117期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期の連結業績につきましては、売上高は、前年同様に比べ8.5%増収の478億83百万円、営業利益は、前年同様に比べ10.2%減益の25億52百万円となりました。

セグメント別の損益状況は次のとおりであります。

【耐火物事業】

売上高は、顧客操業度の高位安定により拡大し、前年同様に比べ8.3%増収の348億28百万円となりました。

一方、営業利益は、耐火物原料価格の高騰、昨年度の設備投資に伴う償却費負担の増などにより、前年同様に比べ16.9%減益の18億95百万円となりました。

【築炉事業】

売上高は、鉄鋼業界の設備投資増に伴う大型建設用案件の受注増などにより、前年同様に比べ22.9%増収の87億15百万円となりました。

営業利益も、売上高の増などにより、前年同様に比べ49.1%増益の9億84百万円となりました。

【ファイナセラムックス事業】

売上高は、主力ユーザーである半導体製造装置業界の市場環境の悪化などに伴い、前年同様に比べ29.9%減収の21億98百万円となりました。

営業利益も、売上高の減などにより、前年同様に比べ58.2%減益の1億25百万円となりました。

【不動産事業】

売上高は、前年同様に比べ0.6%減収の5億8百万円となりました。

営業利益は、前年同様に比べ2.6%減益の1億49百万円となりました。

【その他の事業】

売上高は、製鉄所向け石灰および建材事業の売上増などにより、前年同様に比べ30.5%増収の16億35百万円となりました。

営業利益も、売上高の増などにより、前年同様の12百万円の損失から、93百万円の利益となりました。

当中間期の経常利益は、営業利益の減などにより、前年同様に比べ7.6%減益の26億84百万円となりました。また、中間純利益は、前年同様に比べ25.7%減益の16億86百万円となりました。



これは、営業利益、経常利益の減とともに、前年同様の特別利益に関係会社株式売却益が計上されていたためであります。

今後の経済見通しにつきましては、企業部門の好調さが持続し、これが家計部門へ波及し国内民間需要に支えられた景気回復が続くものと見込まれます。

その一方、アメリカ経済や原油価格の動向が内外経済に与える影響等に留意する必要があるなど、なお不透明な状況が続くものと思われ、これに伴い、当社グループの主力製品であります耐火物の販売増が見込まれます。ただ、昨年度下半期から今年度上半期にかけて続いていた製鉄用設備の大型改修・築造案件の受注がピークを迎え、今年度下半期にはその勢いが落ち着くものと見込んでおり、通期の連結売上高はほぼ前期並と予想しております。

損益面では、耐火物原料価格高騰の勢いが今期より増してきたこと、平成19年度税制改正における減価償却項目に関する会計処理の変更により償却費が増加したこと等の影響を大きく受け、収益性が悪化している状況です。

このような状況下、平成20年3月期の配当については、その実施の有無、金額を、通期の状況を見ううえで判断いたしたく、中間期末配当につきましては無配とさせていただきます。

株主の皆様には、誠に申し訳なくお詫び申し上げますとともに、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

今後の取組みといたしましては、耐火物事業につきましては、ますます高級鋼志向を強める顧客に向けて高級鋼生産のスループットマックスに貢献する高品質、高機能の耐火物を提案、供給すべく、生産・供給・サービス一体で総合ソリューション力の強化に努めてまいります。

耐火物事業以外の各事業につきましては、業務の効率化をさらに推進し、安定的収益体質の定着を図ります。

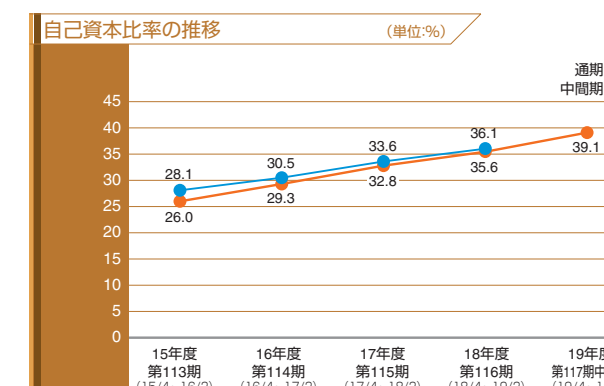
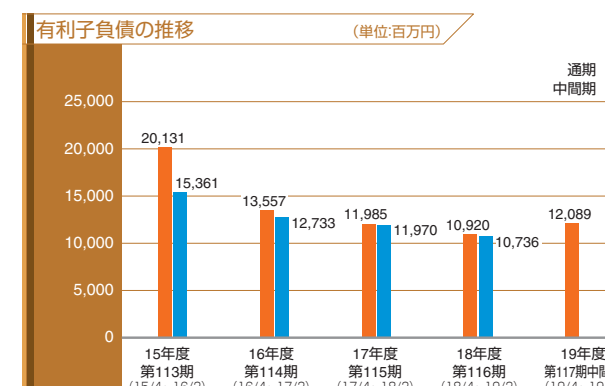
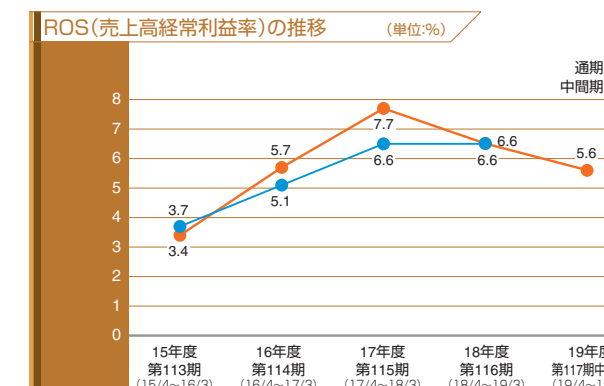
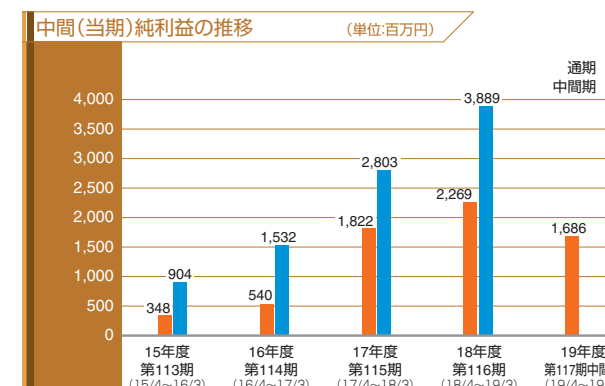
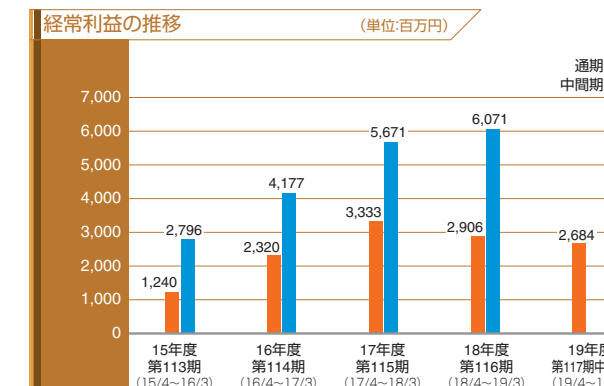
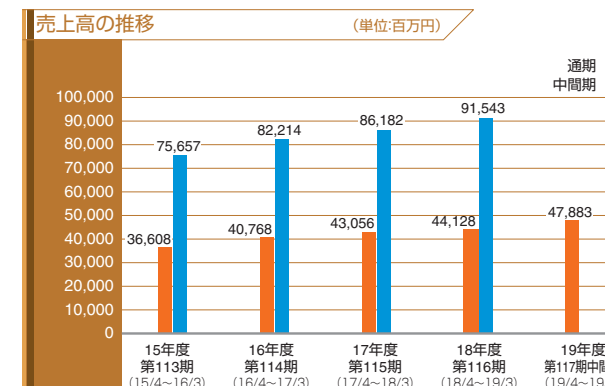
以上により、平成20年3月期の業績見通しといたしましては、売上高920億円、経常利益47億円、当期純利益26億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、従前にもましてなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

取締役社長 古野 英 樹

(金額は単位未満を切り捨てております。)



中間連結財務諸表

(金額は単位未満を切り捨てております。)

中間連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	前中間期末 (平成18年9月30日)	当中間期末 (平成19年9月30日)	前期末 (平成19年3月31日)
(資産の部)			
流動資産	40,006	43,398	43,526
現金及び預金	2,819	3,535	3,489
受取手形及び売掛金並びに完成工事未収入金	22,367	23,417	24,293
棚卸資産	12,349	14,191	13,461
その他	2,470	2,254	2,282
固定資産	38,729	39,233	38,809
有形固定資産	29,255	30,475	29,162
建物及び構築物	11,453	11,213	11,292
機械装置、窯炉及び運搬具	8,588	8,802	8,880
工具器具備品	725	872	799
土地	7,254	7,336	7,334
建設仮勘定	1,234	2,250	855
無形固定資産	672	546	556
投資その他の資産	8,801	8,210	9,090
資産合計	78,735	82,631	82,335

科目	前中間期末 (平成18年9月30日)	当中間期末 (平成19年9月30日)	前期末 (平成19年3月31日)
(負債の部)			
流動負債	32,212	34,802	34,218
支払手形及び買掛金並びに工事未払金	17,527	18,764	19,558
短期借入金	6,231	7,719	6,269
その他	8,453	8,318	8,391
固定負債	15,543	14,406	15,243
長期借入金	4,689	4,370	4,467
その他	10,854	10,036	10,776
負債合計	47,756	49,209	49,461
(純資産の部)			
株主資本	24,949	29,388	26,555
資本金	5,537	5,537	5,537
資本剰余金	3,521	5,138	3,521
利益剰余金	15,995	18,877	17,615
自己株式	△105	△165	△119
評価・換算差額等	3,083	2,928	3,146
少数株主持分	2,946	1,105	3,171
純資産合計	30,979	33,422	32,874
負債・純資産合計	78,735	82,631	82,335

(金額は単位未満を切り捨てております。)

中間連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	44,128	47,883	91,543
売上原価	35,158	38,661	73,155
売上総利益	8,969	9,222	18,388
販売費及び一般管理費	6,127	6,669	12,508
営業利益	2,842	2,552	5,880
営業外収益	385	457	867
営業外費用	320	324	676
経常利益	2,906	2,684	6,071
特別利益	908	163	1,438
特別損失	140	406	951
税金等調整前中間(当期)純利益	3,675	2,441	6,558
法人税、住民税及び事業税	1,500	538	2,106
法人税等調整額	△235	32	234
少数株主利益	141	183	328
中間(当期)純利益	2,269	1,686	3,889

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	195	2,683	3,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	97	△2,423	△2,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△285	△1,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	32	45
現金及び現金同等物の増減額	△838	7	△104
現金及び現金同等物の期首残高	3,636	3,540	3,636
連結子会社の非連結子会社合併に伴う増加額	7	-	7
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,805	3,547	3,540

中間連結株主資本等変動計算書(要約)

(単位:百万円)

当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成19年3月31日残高	5,537	3,521	17,615	△119	26,555	3,146	3,171	32,874
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△437		△437	-		△437
中間純利益			1,686		1,686	-		1,686
自己株式の取得				△46	△46	-		△46
株式交換による変動額		1,617			1,617	-		1,617
その他			12		12	-		12
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)					-	△218	△2,066	△2,284
中間連結会計期間中の変動額合計	-	1,617	1,261	△46	2,833	△218	△2,066	548
平成19年9月30日残高	5,537	5,138	18,877	△165	29,388	2,928	1,105	33,422

中間個別財務諸表

(金額は単位未満を切り捨てております。)

中間貸借対照表(要約) (単位:百万円)

科目	前中間期末 (平成18年9月30日)	当中間期末 (平成19年9月30日)	前期末 (平成19年3月31日)
(資産の部)			
流動資産	30,858	31,766	33,267
固定資産	31,687	33,789	31,685
有形固定資産	20,895	21,594	20,797
無形固定資産	618	447	504
投資その他の資産	10,172	11,748	10,383
資産合計	62,546	65,556	64,953
(負債の部)			
流動負債	25,506	27,230	27,156
固定負債	12,696	11,353	12,581
負債合計	38,203	38,583	39,737
(純資産の部)			
株主資本	21,722	24,870	22,639
資本金	5,537	5,537	5,537
資本剰余金	3,521	5,138	3,521
利益剰余金	12,768	14,355	13,698
自己株式	△ 105	△ 162	△ 118
評価・換算差額等	2,620	2,102	2,575
純資産合計	24,343	26,972	25,215
負債・純資産合計	62,546	65,556	64,953

中間損益計算書(要約) (単位:百万円)

科目	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	40,383	42,720	83,370
売上原価	33,922	36,457	70,414
売上総利益	6,460	6,262	12,956
販売費及び一般管理費	4,718	4,885	9,581
営業利益	1,742	1,377	3,374
営業外収益	312	472	732
営業外費用	257	289	527
経常利益	1,797	1,559	3,579
特別利益	1,913	125	2,344
特別損失	114	414	761
税引前中間(当期)純利益	3,597	1,270	5,162
法人税、住民税及び事業税	914	121	1,220
法人税等調整額	△ 46	54	281
中間(当期)純利益	2,729	1,094	3,660

中間株主資本等変動計算書(要約) (単位:百万円)

当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成19年3月31日残高	5,537	3,521	13,698	△ 118	22,639	2,575	25,215
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△ 437		△ 437	-	△ 437
中間純利益			1,094		1,094	-	1,094
自己株式の取得				△ 43	△ 43	-	△ 43
株式交換による変動額		1,617			1,617	-	1,617
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)					-	△ 472	△ 472
中間会計期間中の変動額合計	-	1,617	656	△ 43	2,230	△ 472	1,757
平成19年9月30日残高	5,537	5,138	14,355	△ 162	24,870	2,102	26,972

株式・会社の状況 (平成19年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	350,000,000株
発行済株式の総数	91,145,280株
株主数	10,977人

会社概要

設立	大正7年10月14日
創業	大正8年6月1日
資本金	5,537,960,000円

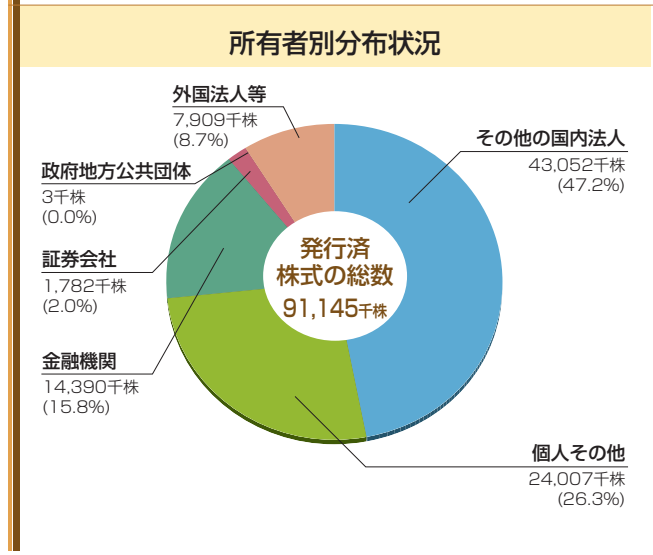
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新日本製鐵株式会社	39,080	42.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,642	4.0
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカ운ツ イーアイエスジー	2,482	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,164	2.4
株式会社福岡銀行	1,859	2.0
エイチエスピーシー バンク ピーエルシー クライアント ノンタックス トリーティ	1,390	1.5
財団法人日本製鐵八幡共済組合	1,095	1.2
日本生命保険相互会社	898	1.0
日本証券金融株式会社	815	0.9
クレディエットバンク107692	780	0.9

役員

取締役社長(代表取締役)	古野 英樹	取締役	桂 裕氏
専務取締役(代表取締役)	大塚 健二	取締役	黒田浩太郎
常務取締役	多喜田一郎	取締役	田中 靖人
常務取締役	上田裕二郎	取締役	吉村 正
取締役	江口 宏	常勤監査役	佐野 正博
取締役	原田 力	常勤監査役	浅野 敬輔
取締役	常岡 聡	監査役	山崎 明彦
取締役	石丸 誠	監査役	武井 紘一

株式の分布状況



所有株数別分布状況

